

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【公開番号】特開2004-88801(P2004-88801A)

【公開日】平成16年3月18日(2004.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2004-011

【出願番号】特願2003-350911(P2003-350911)

【国際特許分類第7版】

H 04 N 7/32

H 03 M 7/36

【F I】

H 04 N 7/137 Z

H 03 M 7/36

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

予測画像生成に用いる参照画像を記憶するメモリと、

複数種類の変形手法のうち一つの変形手法を指示する指示情報とビットストリームから抽出した動きパラメータとを入力し、上記参照画像を用いて、上記指示情報が示す変形手法に基づいて予測画像を生成する予測画像生成部と、

上記ビットストリームからテクスチャを復号し、上記予測画像生成部で生成される上記予測画像と上記テクスチャを加算することにより復号画像を得る復号部と

を備えることを特徴とする動画像復号装置。

【請求項2】

上記予測画像生成部は、

平行移動変形手法と、アフィン変形手法と、透視変形手法とのいずれかの変形手法に基づいて予測画像を生成することを特徴とする請求項1記載の動画像復号装置。

【請求項3】

上記動画像復号装置は、さらに、

予測画像を生成する場合に参照する画像を記憶するとともに、上記複数の変形手法のうち少なくとも1つ以上の変形手法が対応づけられる複数のメモリを備え、

上記予測画像生成部は、変形手法に対応づけられるメモリに記憶された画像を参照して予測画像を生成することを特徴とする請求項1記載の動画像復号装置。

【請求項4】

予測画像生成に用いる参照画像を記憶する記憶ステップと、

複数種類の変形手法のうち一つの変形手法を指示する指示情報とビットストリームから抽出した動きパラメータとを入力し、上記参照画像を用いて、上記指示情報が示す変形手法に基づいて予測画像を生成する予測画像生成ステップと、

上記ビットストリームからテクスチャを復号し、上記予測画像生成部で生成される上記予測画像と上記テクスチャを加算することにより復号画像を得る復号ステップと

を備えることを特徴とする動画像復号方法。

【請求項5】

上記予測画像生成ステップでは、

平行移動変形手法と、アフィン変形手法と、透視変形手法とのいずれかの変形手法に基づいて予測画像を生成することを特徴とする請求項4記載の動画像復号方法。

【請求項 6】

上記複数の変形手法のうち少なくとも1つ以上の変形手法が対応づけられる複数のメモリに記憶された画像を参照して予測画像を生成することを特徴とする請求項4記載の動画像復号方法。